

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	大阪電気通信大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	大阪
大学全体の総収容定員	5,024 名 ※令和6年5月1日時点		
学部学科組織構成	工学部（電気電子工学科、電子機械工学科、機械工学科、基礎理工学科）、情報通信工学部（情報工学科、通信工学科）、建築・デザイン学部（建築・デザイン学科）、健康情報学部（健康情報学科）、総合情報学部（デジタルゲーム学科、ゲーム&メディア学科、情報学科）		
事業計画名	大阪電気通信大学 工学・情報学部学科再編計画		

2. 事業概要

科学技術の進歩と産業構造の変化に伴い、工学・情報分野の人材需要が高まっている。第6期科学技術・イノベーション基本計画では、持続可能な社会の実現やデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が重要視されており、それに対応できる高度な専門知識と実践力を持つ人材育成が求められている。 本学工学部工学科では、 社会・産業構造の変化、技術革新、持続可能な社会の実現に向けた技術革新を支える専門技術者の育成 を目的に、新たな専攻・カリキュラムを整備し、教育・研究の充実を推進する。また、産業界や地域と連携し、持続可能な成長を支える技術者の輩出を目指す。 一方、情報学部では、クラウド・IoT・大規模言語モデル（LLM）などの技術進化に伴い、UX/UIやサービスデザインなどの人間中心のアプローチの重要性が増している。情報技術（IT）分野の人材需要が拡大する中、高度IT人材の育成が不可欠であるため、 技術力と社会文化的な理解を統合できる人材育成 のため、教育・研究の強化を図る。 両学部の再編では、最新技術に対応したカリキュラムの整備、自治体・産業界との連携強化、実践的な学びの機会の拡充を進め、それぞれ1学部に1学科複数専攻制とすることで、 異なる分野を幅広く学修する機会を提供し、分野を横断して活用できる即戦力となる人材を育成 することを目指す。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	工学部工学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	大阪府寝屋川市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	336 名					
他学部等の入学定員の減少数	336 名					

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	大阪府寝屋川市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	330 名					
他学部等の入学定員の減少数	330 名					

事業計画名	大阪電気通信大学 工学部工学科(仮称)・情報学部(仮称)再編計画				
-------	----------------------------------	--	--	--	--

基本情報					
改組予定年度	R10(2028)年度	設置等組織名	工学部工学科、情報学部(仮称)	入学定員増数(合計数)	666名
所在地	大阪府寝屋川市	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)(工学部工学科)、学部の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)(情報学部)	入学定員減数(合計数)	666名

＜社会や地域のニーズ・課題＞

工学部工学科: 科学技術の進歩と産業構造の変化に伴い、工学分野の人材需要が拡大している。持続可能な社会の実現に向けた技術革新が重視され、高度な専門知識や分野横断的なスキルを持つ人材の育成が求められている。本学工学部工学科は、新たな専攻やカリキュラムを整備し、研究・応用技術の開発を推進。さらに産業界や地域と連携し、持続可能な成長を支える技術者の育成を目指す。

情報学部: クラウド・IoT・LLMなどの進化により、標準化・自動化が進む一方で、UX/UIやサービスデザインの重要性が増している。デジタル技術の発展は社会全体に影響を与え、IT人材の需要が急拡大。第6期科学技術・イノベーション基本計画でもDX推進が重点課題とされ、高度IT人材の育成が不可欠である。本学情報学部は、この社会的ニーズに対応し、教育・研究を強化。未来を支える人材を育成し、持続可能な成長に貢献することを目指す。

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

工学部工学科では、技術革新や持続可能な社会を支える専門技術者の育成を目的に、新たな専攻・カリキュラムを整備し、教育・研究を充実。また、産業界や地域と連携し、持続可能な成長を支える技術者の輩出を目指す。一方、情報学部では、クラウド・IoT・LLMなどの技術発展に伴い、UX/UIやサービスデザインの重要性が増す中、高度IT人材の育成が不可欠であるため、技術力と社会文化的理解を統合できる人材育成のための教育・研究を強化する。両学部の再編では、最新技術に対応したカリキュラムの整備、自治体・産業界との連携強化、実践的な学びの機会の拡充を進める。さらに、1学部1学科複数専攻制とすることで、異なる分野を幅広く学修できる環境を提供し、分野横断的な活用が可能な即戦力人材の育成を目指す。

＜教育内容・育成する人材像＞

工学部工学科および情報学部では、持続可能な社会の実現とデジタルトランスフォーメーション(DX)推進に貢献する高度な専門知識と実践力を備えた人材を育成する。工学部工学科では基盤技術を理解し、分野横断的な活用力を持つ技術者の養成を目指し、情報学部ではデータ駆動型社会に対応する課題解決力・創造力を備えたIT人材を育成する。両学部ともに自治体や企業と連携し、産業界のニーズを踏まえたカリキュラム・PBL型授業・企業連携講座を実施。ロボティクス・AI・エネルギー・データサイエンスなどの実験施設を拡充し、実務経験を有する専門家の招聘を強化する。さらに、遠隔講義を活用し、国内外の研究者や実務家による最先端の知識を学ぶ機会を提供する計画をしている。これらの取り組みを通じ、産業界の即戦力となる技術者・IT人材の輩出を目指し、持続可能な成長に貢献する。

＜連携を通じた教育体制の整備＞

教育における連携(地域課題やニーズ等をテーマとし、連携協定自治体や企業と課題解決型教育の取組を展開)

※連携予定自治体・企業: 寝屋川市、四條畷市、守口市、

＜多様な入学者の確保＞

工学部工学科および情報学部では、ジェンダー・国籍・学問分野の多様性を重視した入試制度を検討する。理工系分野への女性進学率向上を目指し、「女子特別推薦入学試験」の導入。また、留学生獲得のため「日本留学試験」を活用した入試制度を実施し、日本語学校訪問や留学生イベントへの出展を計画する。さらに、文理の枠を超えた多様な視点を持つ人材の育成を促進するため、文系科目入試の導入を検討。高等学校との連携を強化し、出張授業や探究活動を実施することで、工学・情報学分野への進学意欲を喚起する。こうした取り組みにより、多様な背景を持つ学生の受け入れを拡大し、社会の多様なニーズに応えられる人材を育成する。

